



刈入れしやすい稻とは

稻刈りの季節です。

いかがお過ごですか

日毎に秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。皆様お元気でいらっしゃいますか。あの暑い夏とはうって変わり、台風の到来の度に気温が下がり朝晩の寒暖差と共に長雨の秋となっているように感じます。春の育苗・田植えから大切に見守り育ててきたお米の収穫の季節をむかえました。そして、様々な秋の味覚の収穫の季節です。長雨の為、稻刈りもなかなか進められずにいるとゆうお声をよく耳にしております。無事稻刈りを終えても水分を含んだ状態の稻はその後の対応にも手間と時間がかかります。この秋の天候にはお米だけではなく、様々な農作物への影響が心配され、被害をうけた方々もおられます。農業の再開には並々ならぬ時間と費用を必要とします。そしてそこには、作物作りに携わっておられる方々の強い想いがあります。地球規模で天候の季節の異常を感じるようになりました。避けられない状況が起こる事態もあります。しかし、ある程度の荒れた天候においても作

物自体が耐え・良い収穫に至る事の出来る農作物作り・土作りの情報を皆様にお伝えし、皆様の笑顔に繋がる事が私達(株)タフライ特の出来る事だと感じております。この度は「サン・ラ・テール」を施用する事により、どの様に作物作り・土作りに現れてくるのかをお伝えしたいと思います。併せて作物作りのお役に立てる情報をいくつかお伝えしたいと思います。

「サン・ラ・テール」施用のお米

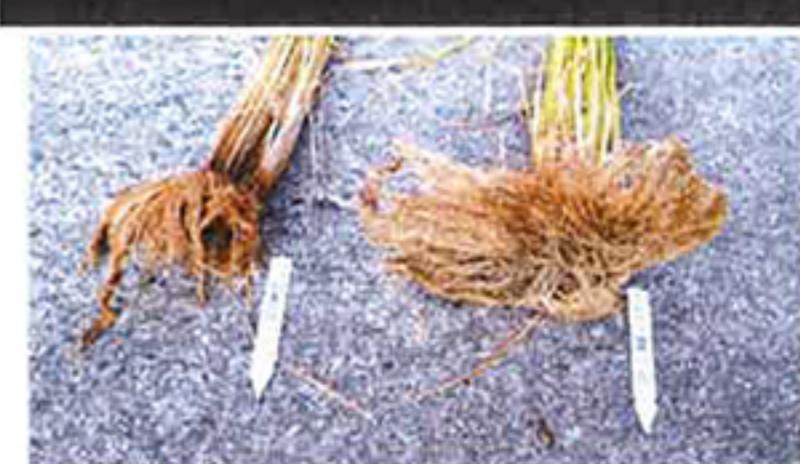
「サン・ラ・テール」を11年施用している方の稻刈りにお邪魔してきました。そこで見てきた稻の姿を対象区の稻と共に、地上と地中の姿をお伝えします。

果樹への現れ方

「サン・ラ・テール」を約30年施用しておられる方の果樹の姿を紹介します。

バランスの大切さ

「サン・ラ・テール」を施用することが土・作物へ良いのはなぜか。



施用比較

施用11年目の土とそこで育つ稻と対象区との違い
2ページ



良い稻穂とは…

刈入れ直前までの稻の状態とその後

施用比較

お米に現れる施用に違い

米どころ新潟県に「サン・ラ・テール」を11年施用されている方がおられます。刈り入れ時期の稻を対象区の稻と共にその違いを紹介したいと思います。

右の「写真①」をご覧下さい。

対象区と施用区の稻を1株づついただき場所を移し、根に附いた付いた土を落とし並べて比べてみました。

- ↓ 稲の長さ
- ↓ 根の長さ
- ↓ 根の量
- ↓ 稲の緑の濃さ
- ↓ 生っているお米の量
- ↓ 稲の色

以上5項目においては、一目で違ひが見てとれます。この稻は、稻刈り直前(数日前)の稻です。直前の稻は金色(黄色)に実っている印象がありました。本当に強い稻・美味しいお米のとれる稻は違いました。

対象区

施用 11 年目

写真①



	サン・ラ・テール区	対象区
全体の長さ	長い	長さはある
”太さ	太く持っても折れない	細く持つと折れやすい
”色	根元まで青々としていて無効分けつが少ない	下半分は茶色く無効分けつが多い
根の様子	白く太く絡まりが強い	茶色く細く切れやすい
その他	葉先まで青々としている	葉先が茶色い



- ↓ 稲全体が(根元まで)しっかりと太い
- ↓ 根元から葉先まで青々としている
- ↓ 土の中の根は、そうめんのように白く太く長く量が多い

葉先から根元まで青々としていて、芯となる茎は全体的に太く硬く束で持つと握れないほど太いものでした。無効分けつが少ない為です。穂となる割合が高く=增收に繋がっているのです。青々としているとゆう事は、体力があり人でゆう健康な稻であるとゆう事です。体力のある健康な稻から収穫されたお米は美味しいに間違ひありません☆

良い稲穂とは…

刈入れ直前までの稲の様子と対象区との違い

右写真①は施用区の刈入れ最中の稲の写真です。先程説明した内容にもありました、一本一本が太くしっかりしている事で折れたり・倒れたりしている稲はありません。サン・ラ テールを施用する事で天候に左右されにくい生育をしていきます。よって、刈り取り時の作業効率があがり経済的にも良い結果に繋がります。



写真②

写真②は、施用区と対象区の稲の穂の根元の様子です。見ても分かる通り色が違います。これは、無効分けつの量の違いと稲自体のスタミナの違いになるかと思います。ここまで近くで見比べると天候に左右されにくい生育に納得してしまいました。



写真③は、施用区・対象区の稲穂の様子です。

施用区の稲の葉が青々としているのに比べ対象区の稲の葉は葉先が茶色く細くよれていて枯れかけているように見えます。施用区の葉を触りましたが、しっかりと厚く葉先まで広がり葉幅もありました。なっているお米の量も違いました。施用区の稲穂はびっしりと重そうに見えました。

正に「頭を垂れる稲穂かな」でした。



写真④と共に最後にご覧頂きたいのは、刈入れ直前の水田の様子です。お気づきでしょうか。色が違います。稻刈りの時期「金色だなあ。実っているなあ。」と思い見ていた景色にこのような違いがありました。この一面青々とした稻穂の姿が高品質のお米を実現した稻穂の景色でした。刈入れ直前まで青々としているとゆうことは、刈入れの時期を延ばせるとゆう事になります。これは、刈入れ時期のぎりぎりまで土からの栄養を吸収し高品質お米として生育しているとゆうことです。



高品質のお米の収穫には…

刈入れギリギリまで生育し高品質のお米が収穫出来る畠 = 高品質の作物を生育できる土である。

とゆう事になります。様々な肥料があり様々な施肥設計の元作物つくりをしています。疲れた・壊れた土も多いかと思います。(株)タフライでは本当の土つくり・土自身の地力を戻し土にとっては勿論、作物にとってもそれを口にする私達にとっても安心で安全な土つくり・作物つくりのお手伝いをさせて頂いております。

この写真は…

(表紙にあるその後です)

最初にご紹介した稻を頂いてきました。会社へ戻ってから「根」に付いた土を水で落としてみました。すると、生育の違いが良くわかります。土を洗い流す際、対象区の稻の根は細く短い為切れないように洗い流さなければいけないので大変でした。施用区の稻の根は大変さが違いました。土や小石をしっかりと抱え込んでいて、更にしっかりと絡み合っているので、簡単に洗い流せるものではありませんでした。太くしっかりとした「根」なので多少力が入っても切れませんでした。土の中での違いを実感しました。



サン・ラ・テールの働き

サン・ラ・テールは、壊れた土や疲れた土を**良い土 = 電気を多量に持つ土**に蘇らせる・**土本来の働きを発揮できる状態**へ戻します。植物を豊かに生育させるうえで、電気を持つ粘土や腐食が大きな役割になります。この役割を持ち、高品質な農作物の生育が実現できるのがこの粘土鉱物（モンモリナイト 2 : 1 型）サン・ラ・テールです。植物は、微生物により分解されイオンになった状態の養分を吸収します。保肥力・保水力を持ち良イオンの吸収・団粒構造の形成・多微生物の保持等地力のある土を実現します。

米つくり 施用比較

H28(2016)秋



この度、園地を見学させて頂きました「新潟県新発田市。斎藤様」ありがとうございました。
「サン・ラ テール」の詳しい施用方法などにつきましては、お気軽にお問い合わせ下さい。
山形の果物など何でもお気軽にお問い合わせ下さい。
又、「サン・ラ テール」を施用した野菜・果物・お米などご希望の方は当社までお問い合わせ下さい。



(株)タフライ特

〒992-0301

山形県東置賜郡高畠町大字新宿 1983

TEL 0238-52-1007

FAX 0238-52-4068

URL <http://www.tglgt.com/>

E-mail info@tglgt.com